VCC 通信

ＮＨＫ金沢ビデオカメラクラブ
２００９年６月号　通巻２８９

****

ＶＣＣ創立２５周年記念撮影会

【５月撮影会報告】

“木彫りの里・井波の町”を撮る！

集合時間：５月１７日（日）　午前１０時

撮影会に２５名が参加

風薫る５月『ＶＣＣ創立２５周年記念“木彫りの里・井波町”を撮る』が開かれました。

撮影会というのにあいにく当日の朝は雨模様。出足が心配されましたがそれでも２５名の仲間が参加して小雨ふる中の撮影に大いに奮闘しました。

午前１０時には集合場所の「交通広場」に笑顔いっぱいの会員が参加、涙雨ながらも元気一杯のビデオ好き仲間が大集合。

『交通広場』前での「開会式」では、藤平田会長の挨拶のあと、野村副会長から「撮影会」について詳しい説明や諸注意を受け、勇躍愛用のカメラを持って、若葉を際立たせる「雨の井波の町」に飛び出しました。

富山・瑞泉寺の門前町として知られる井波町。家々には木彫りの看板や世帯主の干支を彫った表札が掛けられ、木彫りの町「井波の雰囲気」が醸し出されていました。

撮影ポイント満載とあって、会員の皆さんは、あちこちとカメラポジションを探しながら興味津々、忙しく動き回り、インタビューなど熱のこもった撮影が出来たようです。

昼食は井波八日町通りの中心にある“よいとこ井波”内の「うまいもん処 吟奴 Ginya」を貸し切りました。山菜などの「よいとこ井波御膳」を頂きながら和やかなひと時を過ごしました。

この後、近くの「池波正太郎ふれあい館」前で藤平田会長手作りの“VCC 創立２５周年”の横断幕をバックに全員で写真撮影をしました。

参加者いわく「雨で残念、機会を作って晴れた時にもう一度来てゆっくりと撮影をしたい！井波の木彫の里の風情はピッタリだ！木彫の町と美しい瑞泉寺とが渾然一体となっていて被写体として最高！日常とは違った雰囲気で良かった！撮影している一時期、雨もあがるという幸運にも恵まれ良かった。」などなど、いろいろのご意見が飛び出し次への意欲満々でした。

「井波」には、水と緑そして長い歴史に彩られた数多くの名所旧跡があり、瑞泉寺から東に伸びた路地は霊泉が湧き出たといわれる「白浪水」、木立の美しい「井波八幡宮」、八日町通りの裏手には茅葺き屋根の「黒髪庵」など様々な“井波”に出会えます。

あいにくの雨模様でしたが快晴の時に再チャレ

ンジ！を誓っている会員が多かったようでした。
　今回の「木彫りの里・井波の町を撮る」は肝心の撮影自体は思うに任せないようでしたが２５名の参加者は意気軒昂、盛会だったと思います。
　撮影会担当の野村さん、大桑さん、松谷さん、お疲れさま。また参加された会員の皆様本当にご苦労さまでした。
　尚８月２３日（日）の８月例会は「井波撮影会全員審査コンテスト」を開催し、楽しい「賞」を用意する事となっています。今回の映像だけでなくこれまでの「井波」の映像も交えた作品をお待ちしていますので、ふるってご応募してください。

【６月例会案内】

６月例会は、第２日曜日です。

日時：６月１４日（日）午後１時～４時

会場：NHK 金沢放送局見まっしプラザ

内容：自由作品鑑賞

　作品の長さは３分。必ず頭出しをして下さい。

【６月例会担当】は、
山村、上野、大桑、岡野さんです。

《特報》

ＶＣＣ創立２５周年記念
VCC 能登七尾特別例会

　毎月の「ＶＣＣ例会」の７月は、ＮＨＫ金沢放送局を飛び出し「能登七尾」で開催します。VCC 創立 25 周年を記念し会場は“音響と映像設備”の整った旧 田鶴浜町の「サンビーム日和ヶ丘」です。 能登の仲間たちとの交流を深めながら、意義深い例会としたいと思っています。

日時：７月１９日（日）
午後１：００～４：００

会場：七尾市サンビーム日和ヶ丘
（旧　田鶴浜町）ハイビジョンプラザ
七尾市垣吉町ヘ部２４　0767-68-2277

内容：☆「初心者の為のビデオ編集講座」
講師：ＮＨＫ富山ビデオクラブ
松本慎一さん
☆　自由作品鑑賞

サンビーム日和ヶ丘　ホームページ
http://www.city.nanao.ishikawa.jp/sunbeam/top.htm

《特報》
北信越ビデオクラブ交流会
富山大会

日時：９月１２日（土）～１３日(日)
１泊二日

会場　呉羽山温泉元湯　富山観光ホテル
〒930-0138　富山市呉羽町７５３８
℡　０７６－４３１－５５５１

参加費：￥１５，０００円

　午前中に「越中おわら撮影会」を開催します。但し、４０名以上でないと成立しません。これをお読みになって参加希望の方は直ぐにＶＣＣ事務局までご一報ください。

仮申し込み：６月１日（月）迄となって」います。
問い合わせ：ＶＣＣ事務局　　小屋忠男

【会　員　の　広　場　】
“感動ビデオへの挑戦を！”

中田俊郎

　私が映像趣味の世界に興味を持ったきっかけは、父親の影響です。VCC 会員の北川さんの８ミリ教室で父がやり始め、私も昔から８ミリシネマ映像に親しんできました。
　自分で初めてビデオカメラを買ったのは、1991 年に長女が生まれる直前でした。その時のビデオカメラは、パスポートサイズで登場した「SONY の TR75」でした。
　その後転勤を重ね、東京→大阪→東京→仙台→札幌→高崎→東京と目まぐるしく赴任しましたが、様々な土地で、家族を中心にビデオを撮りまくりました。
　30 年振りに石川県に戻ってきた現在に至っては、子供も大きくなり、更に昨年から家族を埼玉に残し、金沢に単身赴任しておりますので、被写体は、山や海などの自然風景や植物それと鉄道・航空機などです。
　ビデオ作品作りの難しさは、スチール写真のような「一瞬の描写表現」が出来にくい点にあると思います。
　私の場合はスチール写真では、たまたまの偶然で感動する写真が撮れる事がありますが、残念な事にビデオ映像の場合は、それがまだありません。
　かような未熟者ですが、皆様の技術を参考にして腕を磨いて行こうと考えております。

『ビデオ徒然（つれづれ）』

タイトル

ビデオ作品に「タイトル」をつけるのは簡単そうでも実際は難しいものです。

わが子に命名した時ほどでもありませんが、苦労して制作した作品には、何かお洒落で素敵なネーミングをと思うのですが、中々頭に浮かんできません。そこでやむなく簡単なストレートで短絡的なタイトルをつけてしまうのが実情です。

しかしタイトルを見ただけで、ビデオの内容がおおよそ判断できるのも考えものです。

新聞の記事もタイトルによって読むか飛ばすかを決めるように、ビデオも「タイトルひとつ」で観客の鑑賞意欲も違ってきます。

タイトルには、少々のミステリヤスな要素があって、作品を見終わって初めて「あぁ・・そうだったのか」と納得してもらえるものが理想的です。

少し古い商業映画ですが「風と共に去りぬ」とか、最近ではアカデミー賞の外国語映画賞を制した「おくりびと」などが優れたタイトルのお手本みたいなものだと思います。

是非皆さんも頭の体操にもなりますので、ご自分の作品に素晴らしいタイトルをつけてください。

（Ｙ・Ｋ生）

【VCC ビデオ講座―№３４】

ビデオ制作 用語辞典（４）

【解像度】

映像の細部をどこまで表現できるか、という画質評価の一つ。

主!こ「水平改造度」と「垂直解像度」という基準がある。ビデオフォーマット、モニターやビデオカメラ、レンズ、それぞれにスペック（性能・仕様）があり、機器のパンフレット等にある解像度が実際に表現されるかは使用機器による。

尚、映像の「画質」は解像度だけで決定するものではないので、カメラやモニターを自身の目で実際に見比べてみないと、本当の良し悪しの判断は決めることはできない。

【肩なめ・肩越しショット】

被写体の一部である人物の斜め後ろから、肩や後頭部を画面右か左の手前に入れて、その人物の目線にある別の被写体を写す画面表現。

手前の人物が大きく表現されることで遠近感が表わされると同時に、人物がその目線の先のものに感情移入している様が表現される。

よくあるパターンとして２人の人物が向かい合って会話をしている様子を撮るときなどによく使われる。

【カット】

映像制作ではいくつかの意味として使われる。

①撮影時に収録を止める時に、又編集時にある部分で、映像を切るときに「カット」すると言う。

②収録した映像の一区切りの部分や、一つの画のことを「カット」と呼ぶことがある。例えば「今撮った富士山のカットは・・・」「ここではこの花のカットを使って・・・」というように使う。

③「カット編集」「カットで、つなぐ」と言う場合、２つの映像をオーバーラップやワイプなどの合成を使わず単につなぐだけの編集の時に使う。

【上手】（カミテ）

元々舞台用語で客席から見て舞台の右手をそう呼ぶ。

スタジオ等ではカメラ位置から見て右手を「上手」と呼んでいる。

ちなみに左手は下手（しもて）。「右」「左」で表現するとその人の向きによっては正反対の位置を指すことになり、混乱を招いてしまうので、絶対位置を定めるために「上」「下」と呼ぶことにしている。

【カメリハ 】

カメラリハーサルの略で、本番の撮影の前にカメラの動きや映像の内容、被写体の位置や動き、音声や照明の具合をチェックするために本番同様に撮影をしながらリハーサルを行うこと。

アマチュアもカメラ撮影はできるだけリハーサルを行った方よい。

特にパンニングやチルトなどカメラを動かす場合は必須である。

● ハイビジョン編集最新情報（第３回）

～ハイビジョン編集ソフト VEGAS ～

浜谷　修三

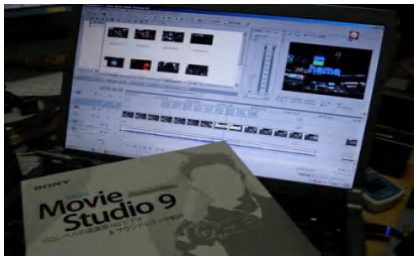
先日、横浜開港１５０周年会場で撮影実習をしましたが、1/4 の方が「ソニーHDR-XR500V」を使っていました。

今売れているビデオカメラは、殆どがハードディスクやメモリーに記録する「AVCHD タイプ」です。これまでは編集環境がなかなか追いつきませんでしたが、去年くらいから編集環境が整い、誰でも扱える様になってきました。

しかし、映像と音声を最新の技術で圧縮しているため、AVCHD をそのまま扱うには重すぎて、ソフトメーカーはいろんな工夫を凝らしています。

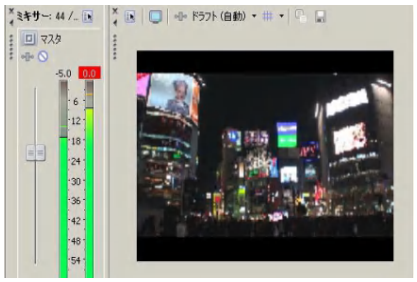
そのやり方は、①ＥＤＩＵＳ・・カノープスＨＱファイルに変換、②プレミア＋ソニーＶＡＩＯ・・ソニー開発のソフトで軽く動くプロキシファイルに変換、③そのままのネイティブファイルを編集。

しかし、③ネイティブそのままのファイルをソフトは、例えばプレミアなど普通のＰＣでは歯が立ちません。



こうした中で登場したアメリカ･ソニー生まれのハイビジョン編集ソフト VEGAS が話題になっています。

私のノート PC（DELL1535）で早速使ってみました。インストールしてみると・・・インタフェースはシンプルかつ分かりやすい・・・、しかし奥は深いようです。XR500V で撮影した映像を、キャプチャーしてみました。



他のソフトでは、ここでファイル変換を行う為かなり時間がかかってしまいますが VEGAS は、「重いフルＨＤクリップ」が、そのままネイティブで軽～く動きます。ちょっとした驚きです。

編集終了後は、ＤＶＤ、ブルーレイ、ＨＤＶ、そして、最近はやりの「you tube」などに出力可能です。この新感覚ソフト、ＡＶＣＨＤ編集ソフトとしての**ＶＥＧＡＳの特徴**をまとめると・・・

☆ とにかく軽い！

☆ HDV と AVCHD をネイティブ編集できるのでプロキシファイルなどの二次ファイルを作成する時間を待たなくてよい。

☆ 初心者にも安心な「インタラクティブチュートリアル」が搭載されているので取扱説明書要らず♪

☆音声の再生を重視した設計なので、音素材に合わせた編集がしやすい。

私は「ＥＤＩＵＳ」を使っていますので乗り換えるわけにはいきませんが、ノートＰＣなどでのモバイル編集ではかなりイケテル感じです。

これから編集を考えている方には、ＥＤＩＵＳと並んで有力な選択肢ですね。

（記：朝日カレッジ講師：浜谷修三さん）
＝元　NHK アマチュアビデオ事務局長＝

ビデオ便り

かがのとしゅんしゅん便＆デジタル百万石

放送日	タイトル	撮影者
４／３０	北陸街道さくらまつり	岡野重和
	源平桃	上木昭信
５／　７	長坂用水の掃除と水あげ神事	藤平田友市
５／１４	地元住民の手作り「鯉流し」	山本忠嗣
	山中漆器祭	片岡重幸
５／２１	子供太鼓行列	石浦　誠
	どろんこ田植え	松谷和男
	市民交流くりから散策	藤平田友市

ビデオ便り担当：亀井　和恵さん
連絡先：０７６－２６４－７０３２

●　ニュースデスクから

身の回りで起きた面白そうな話題や事件等「ニュース」になりそうなものがありましたら気軽にご一報下さい。　日中の時間であれば

ＮＨＫ金沢局の映像取材のデスク席
（０７６－２６４－７０３５）

【事務局より年会費のお願い】

今年度会費（４，０００円）です。例会出席の折か、又は下記の口座まで送金下さい。

北國銀行本店　普通預金　口座№. ０１８２０６
口座名義　ＮＨＫ金沢ビデオカメラクラブ

【編集後記】

５月撮影会“VCC 創立２５周年記念”「木彫の里・井波町」はあいにくの涙雨。でも再チャレンジを誓い合いました。６月例会では NHK 金沢放送局での定例会です。

またお知らせしたように７月１９日（日）は「能登七尾」での“特別例会”です。カレンダーに○印をつけて多くの会員との交流で楽しみましょう。

********** 事　務　局 **********

ＮＨＫ金沢ビデオカメラクラブ事務局（VCC）
〒920-8644　金沢市大手町 14－1（金沢放送局内）
小屋忠男 携帯電話　(090)7746-9608
tadao@nsknet.or.jp（小屋メールアドレス）

◆ＶＣＣのホームページ

Ｋ－ＶＣＣのホームページには会員作品（動画）を始め各種資料を掲載しています。

http://k-vcc.web.infoseek.co.jp/